

「措置入院患者の退院後支援事業における保健師の役割と課題」調査に参加された保健師の方へ
 広島県健康福祉局および広島大学大学院では下記の研究を実施しております。本研究の対象者に該当
 する可能性のある方で、この情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、
 2021年3月31日までに、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名	措置入院患者の退院後支援事業における保健師の役割と課題
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科地域・在宅看護開発学 教授 中谷久恵
研究期間	2021年2月15日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者	令和2年(2020年)6月～9月に「措置入院患者の退院後支援事業における保健師の役割と課題」の研究に参加した広島県保健師10名。
意義・目的	厚生労働省からの「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」通知(平成30年3月27日)により、広島県では「広島県精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」を作成し、保健所保健師が中心となり、退院後支援を実施しています。措置入院患者は、医療中断による症状の再発や再入院のリスクが高く、退院後に医療等の支援が途切れることが課題となっています。本研究では、措置入院患者の退院後支援事業に従事した保健所保健師の支援の実態を把握し、事業の効果と課題を明らかにします。研究の意義は、事業評価や課題を分析することで、より質の高い支援体制の充実や構築、および支援を担当する保健師の人材育成につながることです。
方法	本研究は、既に取得済みのインタビュー調査データを使用します。解析には研究参加者や支援対象者や支援機関などの特定の情報を削除や匿名化したデータを使用して行い、個人情報の取り扱いには十分配慮したうえで、逐語録を質的記述的に分析して解析を実施します。
共同研究機関	広島県健康福祉局新型コロナウイルス感染症対策担当課 山下十喜 広島県東部保健所福山支所 後迫由衣 共同研究機関にて保健所名や氏名等、個人が特定できる情報を削除します。匿名化された情報を本学が受け取り、解析を分担いたします。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科地域・在宅看護開発学 教授 中谷久恵 (分担施設での研究責任者)
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱い、提供するデータはすべて匿名化されています。情報が個人や施設を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	広島大学医系科学研究科地域・在宅看護開発学 教授 中谷久恵 電話 (082)257-5390(直通) e-Mail hinakata@hiroshima-u.ac.jp